

## 地域に求められる子育て支援施設 ～地域のマンパワーを活用した取り組み～

☞**取り組み内容のポイント**☞ 熊野町在住の方がたに、園内の環境整備や絵本の読み聞かせなどのボランティアとして来ていただき、園児、または、子育て中の保護者とかわることで、側面から子育てをサポートし、『楽しい子育て』を行う応援団としての取り組み。

広島県

社会福祉法人

微妙福祉会

〒731-4224 広島県安芸郡熊野町神田 15-1

TEL：082-820-5000 FAX：082-820-5500

### ●法人創立年

昭和 47（1972）年

### ●法人実施事業

- ①経営施設数合計：4 施設
- ②経営施設・事業【種別毎の数】：  
保育園… 4

### ●法人の理念・経営方針

仏教保育と児童福祉法の理念に基づき、「感謝と思いやりのある、自主的な行動のとれる子」を育成する。  
群れを作るうをキャッチフレーズに、地域の次世代育成支援センターを目指す。  
社会福祉法人としての使命を自覚して、公共性・公益性かつ信頼性の高い組織を目指す。

### ●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款への記載：記載している
- ②事業報告・計画への記載：

### ●取り組みを実施している施設の概要

【施設名】：くまの・みらい保育園  
【施設種別及び利用定員】：保育園 定員 180 名

### ●活動内容

- ◇活動開始年：平成 19（2007）年 7 月
- ◇活動の対象者：地域住民の方々
- ◇活動の頻度・時間  
絵本の読み聞かせ 月 2 回 1 回あたり絵本 3 冊  
表現活動 月 3 回以上 1 回あたり 3 時間  
畑・園庭の環境管理  
不定期ですが、月に 10 日以上 1 回あたり 2 時間以上  
園内の清掃 月 2 回 1 回あたり 2 時間  
保育ボランティア 主婦・高校生 不定期

### ●活動実施の背景、実施にいたった理由

当法人としては、「当園に来園して下さる方は、決して拒むことなく、どなたでも、いつでも WELCOME な気持ちで関わる。」ということ大切にしている。

筆の町熊野町は、町そのものが、ボランティア活動にも力を入れているところもあり、さまざまな方をボランティアとして受け入れる施設を探しているといった公的な取り組みもあった。

当園としては、新設園であるため、地域の子育てニーズを把握するには、地域にお住まいの方のお話を聞くことが最も有効であると考えた。子育て中の方だけではなく、中学生・高校生、また、お年寄りなどさまざまな年齢層の方との関わりの中で、地域にできた新しい施設に対する期待などを探り、それに応えていくことが使命であると考えている。

そういった方がたにボランティアとして園内で活躍していただくことにより、園の様子、子どもの育ちなど口コミで、地域に伝わることを期待している。

限られた職員数なので、側面から支えてくださ

る方は、大変ありがたく、何より、熊野町の人的資源を最大に活用したいと思った。

### ●実施内容

当園でボランティア活動をされている方がたは、地域の中でもさまざまなボランティアとして活躍されている方が多い。

絵本の読み聞かせをして下さっている方は、小学校、公民館などでもたくさんの絵本を読んでくださっている。絵本の選び方も昔からずっと語り継がれているお話などを読んでくださり、子どもたちにとって、担任とは違った楽しみがあるようだ。畑や園の環境など整えてくださっている方も、子どもたちが使いやすいように手入れをしてくださり、野菜作りを通して、命の尊さ、いただくことの意味なども話して下さる。子どもたちはこれらの学んだことを保護者へ伝え、食への関心も高まっている。

表現活動においては、身近な素材を使って年齢にあったあそびを経験させることで、子どもたちの創造性を引き出し、子どものありのままの姿を

受け入れることの大切さを地域の子育て中の保護者へも発信している。

当園にいらっしゃる方がたは、子どもたちが感謝の気持ちを伝えることで、元気になると喜んでくれる。逆に園外にもたくさんの顔見知りの方がいることで、子どもたちや保護者にとって、安心できる町となっている。

### ◎活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

一番大きなこととして、卒園した園児が小学校に行ったら「知ってるお話の先生がいた。」ということで、緊張していた表情が緩み、笑顔になったということがあった。また、通学途中に「お掃除のおばちゃん」と手を振る姿もあるようで、知っている人がいるということは、子どもにも保護者にも安心感につながっていると思われる。子どもたちだけではなく、職員からも「いつもお掃除に来てくださっている方は、同じ地区の方だったのよ。」などと聞き近隣の輪も広がっているようだ。

当園においでくださっているボランティアが、他のボランティア友だちにも働きかけ、畑のお世話をしてくださる方が増え、芋ほりをする日などは、いつの間にかお手伝いの方が集まり、当園に関わってくださる方の輪が広がっている。

また、駐車場の草取りをしてくださっているボランティアの姿を見て、保護者の方々が、「自分たちが使っている駐車場だから自分たちがやらねば。」と奮起し、有志を募って草取りをするなど主体的に園を支えようとしてくださる姿も見られるようになった。たくさんの方に助けられ、支えていただいていることを実感し、感謝している。

### ◎今後の展開

もっとたくさんの方がたに園に来ていただき、子どもたちと関わっていただければと思っている。

さまざまな方と関わりあう中で、子どもたちは、中学生、高校生には、体当たりで接し、甘えたり、一緒に遊んでもらったりなど楽しい経験をする。逆に、お年寄りや小さな子どもには、いたわりの気持ちを持ち、優しく接しなくてはならないということを実体験を通して学んで欲しい。

特に、高齢者との関わりは、熊野町といえども核家族は増えつつあり、なかなか十分ではない。例えば、昔ながらのけん玉、こままわし、おてだまなどお年寄りに伝えてほしいあそびがある。一緒に過ごす中で、高齢者の優しさ、温かさを肌で

感じてほしい。高齢者といっても、まだまだ元気で活躍しておられる方は多く、何かをしたいと思っておられる方も多いと聞く。大切な人材を眠らせておくのはもったいない。また、そういった方々との関わりこそが、子どもたちの豊かな育ちを支えるのではないかと思う。

### ◎主な経費や財源及び人員等

|          |          | ※年間あたり   |       |
|----------|----------|----------|-------|
| 主な経費（支出） | 経費概算額    | 主な財源（収入） | 財源概算額 |
| 保育教材     | 37,999円  |          |       |
| 雑費       | 58,101円  |          |       |
| 消耗品費     | 144,308円 |          |       |
| <合計>     | 240,408円 | <合計>     | 0円    |

- ・取り組みに係わった職員数〔39〕名  
（職種等：保育士・看護師・栄養士など全職員）
  - ・取り組みを実施している施設の事業規模（平成23（2011）年度決算の事業活動収入）〔154,687〕千円
- ※法人全体の事業規模（同上）〔713,130〕千円



ボランティアと一緒に、みらい農園でさつまいもの苗植え



戸川先生による制作あそび



読み聞かせボランティアによるお話広場